

孫兵衛船競漕



縄張神社奉納大縄引き大会

流燈づくり



一皇子宮 御神輿担ぎ

石巻市の夏を彩る「石巻川開き祭り」(7月31日〜8月2日)に、学生・教職員ら延べ300人が参加し、イベントを盛り上げた。

本学では、2011年から開催期間を「地域貢献日」に設定。毎年多くの学生が参加してきた。今年も東日本大震災の犠牲者を供養する流燈づくりのボランティア、一皇子宮の御神輿担ぎ、縄張神社奉納大縄引き大会、大漁踊りなどで学生たちが生き生きと活動した。

北上川で船のタイムを競う孫兵衛船競漕では、8人乗りの女子ミニ競漕に理工学部生物科学科1年次生チームが参戦。「楽しかった」「来年も参加したい」などの感想があった。

石巻川開き祭り



大漁踊り

石巻専修大学

https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

最新の情報は
大学HPで↓



海洋ベントス学研究室

骨格標本愛好会

特別展「石巻化石トラベラー」に協力

石巻市博物館で開催中の特別展「石巻化石トラベラー」(8月1日〜10月18日)に、理工学部の教員と海洋ベントス学研究室、骨格標本愛好会の学生が協力し、子どもたちに生物の魅力を伝えた。

特別展は、1982年に石巻市雄勝町で発掘された



動物のホネを見せながら生態を解説する
骨格標本愛好会の学生＝8月9日



海洋ベントス学研究室が考案したベントス採集を体験する生き物探しゲーム＝8月22日

ウタツサウルス(通称・雄勝魚竜)の化石展示を中心、古生代から現代までの三陸の生物について学ぶ構成。学生らは、二つのワークショップを担当した。

8月9日の「ホネからみる石巻の動物」は、辻大和教授と骨格標本愛好会のメンバーが講師を務め、クジ

ラやタヌキなどのホネを見せながら、動物の生態と進化について解説した。また、8月22日には、阿部博和准教授と海洋ベントス学研究室の学生が「多様性からみるベントス(底生生物)の世界」と題して甲殻類のパスルや海の生き物探しゲームを行った。

中村講師を招き
座談会、対面授業

本学では2025年度から、公務員試験で高い合格実績を誇る専修大学との連携による公務員試験講座を開講している。

今年度は、1年次生向けの「入門講座」を50人、2・3年次生向けの「教養完成講座」を20人が受講。また、3年次生向けの「専門完成講座」は、行政職、機械、電気電子デジタル、農学の各コースを設けている。受講生たちは、質の高い講義動画を教室やオンラインで

多くの受講生が参加した座談会＝7月3日



日々熱心に学習に取り組む受講生を激励するため、講座を担当する中村一樹講師が来学。7月3日には受講生との座談会を実施し、試験対策に関する具体的な質問などに答えた。

また、7月23日には対面での授業も行われ、受講生は中村講師の直接指導を受けながら、学習内容の理解をさらに深めた。

公務員試験講座

産学連携プロジェクトAWARD2025

経営・小松講師が受賞



表彰式でプロジェクトの内容を説明する小松講師

経営学部の小松眞治講師による「人流ビッグデータを活用した津波避難に関する新しい防災教育」が、ソフトバンク(株)

共創研究センター
研究成果報告会

「共に創る」をキーワードに、本学と自治体、企業が連携して活動する共創研究センターの成果報告会が8月21日、本学で開かれた。

昨年度は、石巻市の助成金を受け、10件の研究プロジェクトに取り組んだ。報告会では、「石巻地域における水産業DXに関する検討」(研究代表者：阿部正英理工学部教授)など、各プロジェクト



成果を報告する阿部教授

ARD2025」の社会課題解決部門で表彰された。

小松講師は、ソフトバンクグループの(Agop) (東京都渋谷区)、石巻市教育委員会と連携し、石巻市内の小中学校で、人流可視化分析ツールを活用した防災教育を実施。人流ビッグデータから津波発生時の避難行動を分析し、データに基づいて避難方法や避難経路を考察するなど、児童・生徒が主体的に考え、学びを深める機会を創出した点が高く評価された。

2026石鳳祭

10.10土 11日

【時間】11:00～18:00

メインテーマ 潮騒

お笑いライブ、音楽ライブ(共に入場無料)、学生会企画、模擬店などを予定。ミニ・オープンキャンパスも同時開催。

詳細は石鳳祭実行委員会HPで。また、公式X (@Sekihou2020)、Instagram (sekihousaiiii) で最新の情報を公開中。

